

こわだ防災



Vol.14 : 2024年7月

■ 第8回 小和田地区安否確認訓練を実施

小和田地区安否確認訓練を6月23日(日)に実施致しました。本部を小和田小学校体育館とし、経験した中では初めての雨中での準備・訓練となりましたが徐々に小止みとなり、事故もなく無事に終了することができました。雨天時の各地区の本部設営や案内方法に関し、やや課題が残った感じがあります。

各地区、午前9時より一斉に安否確認訓練を開始。各自治会からの報告は予想より早く、11時02分に完了しました。結果は表1に示します。以降に各自治会からの報告と写真を掲載します。

表1 安否確認訓練集計結果

| 自治会 | 新宿 | 本宿 | 赤松町 | 赤松 | 菱沼小和田 | ブランヴェール 湘南茅ヶ崎 | 合計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| 無事確認表示有 | 789 | 884 | 413 | 500 | 796 | 99 | 3,481 |
| 無事確認表示無 | 147 | 581 | 51 | 132 | 150 | 1 | 1,062 |
| 確認合計 | 936 | 1,465 | 464 | 632 | 946 | 100 | 4,543 |
| 安否確認世帯数比 | 84.3% | 60.3% | 89.0% | 79.1% | 84.1% | 99.0% | 76.6% |
| 報告時刻 | 10:21 | 11:02 | 9:38 | 9:58 | 10:20 | 9:12 | |



小和田小学校体育館本部



■本宿自治会

<訓練内容> 自治会内の防災防犯部と総務部が主となり「安否確認訓練の目的と協力」等の案内状を全戸配布し、当日の活動は、組長170名が組内の「タオル出し」を確認し、その結果を班長へ、班長(33名)が自治会内の3拠点(本宿町・小和田・赤松町)へ連絡、各拠点から本宿自治会本部(自治会館)へ、全てを集計後小和田小学校の本部へ連絡。11:02連絡終了。

又、その他の活動として、福祉施設14か所へ「防災に関するアンケート調査」を民生委員(6名)が実施しました。更に自治会内の「避難行動要支援者」122名の所在と住所確認を民生委員と防災リーダーで調査実施しました。11時から役員と民生委員で訓練の反省会を行い12時に訓練全体が終了しました。

<反省事項>

① 安否確認訓練の主旨が充分浸透していない。

近隣の人同士の繋がり「共助」の重要性を周知徹底する必要がある。毎年出る反省事項で、毎年工夫はしているが、決定打になっていない。今年は天候も悪かった事が確認率の低下になってしまった。

① タオルすら出せない方がいる。

高齢者や障がい者など体力的弱者の方はタオルさえ出せない。日頃から、その様な方々が家の何処に居るのか? ご近所が認識しておくことも大切であると感じました。

■新宿自治会

今年は雨天での訓練となりました。新宿自治会は今年度、班長、組長とも交替の年に当たり、確認作業を初めてする人が殆どでしたが、皆さんしっかりと役割を果たしていました。「無事です」カードが確認し難かった様でしたが、これも訓練と組長は頑張っていました。ただ雨の影響もあり、確認と報告に時間が掛かった様です。もう少し時間の余裕があれば良かったです。

避難行動要支援者を含む支援が必要な方については、今年も民生委員が防災福祉として見回りを行いました。

集計結果は、後日に修正がかなり判明し「無事です」カード掲示数は、小和田小対策本部報告(速報)値が939世帯中750世帯(80%)に対し、修正後は936世帯中789世帯(84%)となりました。昨年の94%から大きく下がりましたが、色々問題点も見えた訓練でした。

雨が酷い状態だったので、昨年から始めた班長によるメガホンでの開始案内巡回を急遽中止したことが、影響した様でした。また災害発生時に緊急連絡をどの様に伝えていくのかが大きな課題となり、防災マニュアルの大切さも再認識させられました。新宿全体で自治会員の高い意識が再確認できた訓練でもありました。



■赤松町自治会

この度は初めての雨天だったのでとても貴重な体験でした。結果的には雨天にも関わらず昨年同等の数字で上出来でしたが、やはり荒天時や高温、低温など本番はどんな環境かわかりません、いかなる状況下でも対処できる拠点の整備がまず必要だと感じました。

また雨天決行とは言ったものの、出席予定の評議員さんが連絡なく当日欠席等の対応についても連絡体制を含め検討していく課題も見えました。

去年も話し合いましたが今年も話に上がったのが前震、本震、余震の対応です。本番が3回あったとして1回目に無事です表示を出したまま、それ以降の地震で動けなくなってしまうたら？

無事です表示が出ていても目視だけでなく確認が必要となってくる？等の色々なパターンの経験も必要に感じました。



高層階避難訓練



■赤松自治会

朝からあいにくの雨となりましたが予定通り小和田地区安否確認訓練を実施、8:30にYU-ZUルームに組長、防災リーダー、役員が集合、一足先に小宮さんが拡声器を使って町内をふれて回った後、9:00頃から各組を回って安否確認を実施。

シエリマンションは独自の方法で同時刻に実施、終了後は避難訓練も実施しました。今年はハチマキのない家庭には呼び鈴を押しての確認も実施したところ、出し忘れの家庭もありました。

注) 戸建て地域ではアパートを除くと表示あり割合は93.6%

以上の結果から見える課題

1. アパート世帯の関心の低さ
2. 実際に災害が発生した時にはアパート世帯の住人も安否確認や共助、公助の対象になるので、日頃からとなり近所との交流やコミュニケーションを深めて居住者の顔を覚えておくように改善が望ましいが、チラシやお知らせ文書の配布を拒む住人もあり、課題は尽きません。

■菱沼小和田自治会

安否確認訓練の開催にあたりご尽力頂いた関係各位に厚くお礼申し上げます。

今回は天気予報で開催当日は完全に雨と言う事で、当会の本来本部であるスマイルパークから急遽市営住宅複合施設に数日前に決定致しました。決定当日、評議員・班長にラインにて緊急連絡し事なきを得ました。

今年は昨年の経験から2つの事前準備を行いました。

- ① 対象施設への安否確認訓練のお知らせと挨拶(7ヶ所)これは会長と防犯部長で回りました。(6月11日 12:30~)
- ② 初めて拡声器を使用し各地区を回り訓練日時及び、“無事ですカード”の掲示の再確認のお知らせの実施(6月21日・22日)

全体を通じての反省と今後の課題ですが、対象施設の一ヶ所から施設点検集計表を頂けませんでした。対策として前日に用意してポストに入れて頂く事をお願いしたいと思います。

拡声器に関しては、21日は男性の声、22日は女性の声にてお知らせしたのですが、男性の声ではキーが低く聞きづらい為、次回は女性か子供の声で録音したいと思います。

今回は天候不順ではありましたが会員・評議員・班長さんの協力のもと、皆頑張りました。ありがとうございました。



■プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会

100世帯程度のマンションだけで構成された自治会ゆえ、この訓練に対する周知は十分でした。役員による確認の時間も10分程度と短時間でした。マグネット式「避難完了札」の玄関扉への掲示は徹底されており、99%の安否が確認できました。

昨年度の課題としていたトランシーバによる小和田小学校との通信についても改善出来ました。

今後も居住者の皆さんが防災に対して高い意識を持っていただけるよう啓蒙活動を継続していきたいと思ひます。

編集後記: 8回目の小和田地区安否確認訓練は雨の中での実施となりました。準備段階では大雨の状況下で、校庭が水浸しの中、体育館への物品の搬入が正門からはできなかつたため、東門へ車を移動させてやっと準備完了。

各地区での安否確認時には雨も小止みとなりました。但し、テントで本部を設営する予定の自治会は急遽別の場所での本部設営で、苦勞されたようです。災害は雨でも発生します、想定外でしたが結果オーライ。